



誠 誠実をもって一貫すること

信 信念を養い明朗なこと

望 希望を持ち努力すること



合 掌
 みほとけの みめぐみにより
 今日(きょう)の一日(いちにち)を 人(ひと)としての過(あやまち)なく
 互(たがい)に睦(むつ)み 互(たがい)に譲(ゆる)り
 己(おの)が業(わざ)を励(はげ)みて 世(よ)の文化(ぶんか)につとめ
 社会(しゃかい)に光明(くわうめい)を捧(たも)げむ
 みほとけの加祐(かいう)を給(たま)へ

理事長
勝目 康裕

令和5年9月1日より、光岡素生前理事長の後任として、鎮西学園の理事長に就任いたしました。

私も昭和37年4月に真和中学に入学し、昭和43年に真和高等学校を卒業した同窓生であり、私を育ててくれた母校真和、そして学園の更なる発展のために全力を尽くす所存です。

浄土宗の宗立校としての自覚のもと、これからも宗教教育を基本とした進学校として、勉学に励む生徒ひとり一人の夢の実現のために、学校長をはじめ、教職員ならびに学園の理事会も一丸となって取り組んで参ります。

今後も皆様のご期待に応えられるよう努力して参りますので、真和中学・高等学校へのご支援・ご協力を何卒お願い申し上げます。



仏教精神によるあらゆる命を大切にする教育。



学校長
芥川 隆浄

浄土宗の宗祖法然上人は、阿弥陀仏の本願に真実の道を見出し、人々に大きな希望と勇気を与えられました。また、聖徳太子は「唯仏是真」「以和為貴」という言葉を座右の銘とされました。本校の校名はこれらの言葉に由来するものです。

真和の教育は、「誠・信・望」のもとに、明朗にして「和」を重んずる豊かな人間性と、進んで「真」を追求する向上心とをあわせ持ち、将来、社会のリーダーとなる人材を育成することを建学の精神としています。

沿革



明治21年… 浄土宗鎮西支校として現在の久留米市善導寺町に開校
 明治34年… 鎮西学園現在地へ移転
 昭和35年… 真和中学校開校
 昭和38年… 真和高等学校開校
 昭和41年… 真和高等学校第一回卒業式
 昭和45年… 真和中学・高等学校男女共学となる
 昭和63年… 学園創立百周年記念式典
 平成22年… 真和創立五十周年記念式典
 平成29年… 新校舎完成
 平成30年… 新体育館完成
 令和 2年… 真和創立六十周年